

麦作情報 (Vol.1)

1 播種後の気象経過(図1)

<10月(中旬~下旬)> 少雨傾向

播種後の気温は平年並、日照時間は中旬に少なく、下旬に多くなりました。降水量は平年よりも少なくなりました。

<中旬> 気温: 平年差-0.1℃, 日照時間: 平年比70%, 降水量: 平年比42%

<下旬> 気温+0.5℃, 日照時間: 平年比120%, 降水量: 37%

<11月> 高温・多照・少雨傾向

11月は晴れの日が多く、高温・多照・少雨傾向となりました。(気温: 平年差+1.2℃, 日照時間: 平年比111%, 降水量: 平年比15%)。

<12月(月上旬)> 多照・少雨傾向

気温は平年よりもやや低く、日照時間はやや少なく、降水量はかなり少なくなりました。(気温: 平年差-0.4℃, 日照時間: 平年比91%, 降水量: 平年比4%)

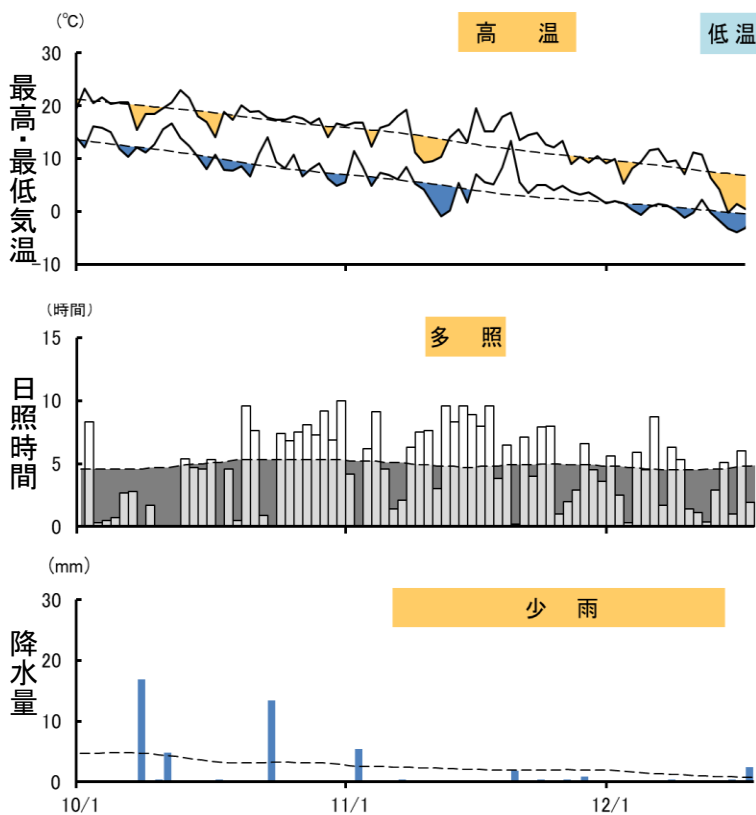


図1 気象経過(アメダス石巻) ※点線は平年値

2 生育調査ほの生育状況

(12月23日現在, 写真, 表1)

- ◆草丈は、調査した5ほ場中3ほ場で平年を上回っています。
- ◆茎数は、調査した5ほ場中3ほ場で平年を上回っています。
- ◆幼穂は、調査したすべてのほ場において確認されました。今年は適期に播種したほ場が多く、昨年に比べ生育が進んでいる傾向がみられました。

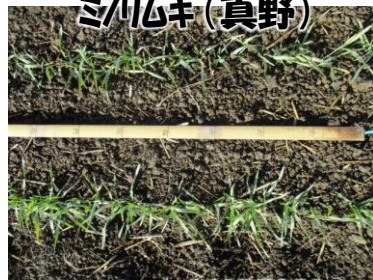
シュンライ(神取)



ミルムギ(高須賀)



ミルムギ(真野)



ホワイトファイバー(水沼)



シラネコムギ(榎崎)



表1 生育調査ほ12月23日調査結果

品種	調査ほ (旧市町)	条間 (cm)	播種日(月日)			草丈(cm)			茎数(本/m ²)			幼穂長(mm)		
			本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差
シュンライ	神取 (桃生)	29.7	10/16	-17	-7	11.8	+3.4	+1.9	560	287%	216%	1.0	+1.0	+0.7
ミノリムギ	高須賀 (桃生)	30.0	10/20	-12	-4	11.4	-0.0	-1.5	258	158%	98%	0.9	+0.9	+0.6
	真野 (石巻)	29.6	10/29	-19	+2	10.3	+5.8	+1.7	289	110%	117%	0.3	+0.3	+0.2
ホワイトファイバー	水沼 (石巻)	29.4	10/20	-19	/	10.8	+4	/	590	239%	/	0.8	+0.8	/
シラネコムギ	小船越 (河北)	/	11/29	+20	+28	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	櫻崎 (桃生)	28.7	10/20	-13	-8	11.8	+2.0	+0.7	535	257%	179%	0.4	+0.4	+0.3

※ 平年差・比は過去5か年の平均値との比較。播種日の+は遅い、-は早いことを示す。

※ 水沼ホワイトファイバー調査ほは調査3年目のため平年差・比は記載しない。

※ 小船越シラネコムギは12月23日現在で未出芽だったため、データ記載無し。

3 今後の管理

(1) 排水対策 ～融雪や降雨によるほ場の停滞水を速やかに排出することが重要です～

暗きよが閉じているほ場がないか、再点検しましょう。また、明きよに停滞水が溜まっている場合は手直しを行いましょう。

(2) 麦踏み

○ 麦踏みの時期と回数を目安

3～4葉期に1回 + 越冬後茎立ちまで(大麦:3月上旬頃, 小麦:3月下旬頃)に1～2回

★播種が遅く麦の生育量が少ないほ場では、1回目の麦踏みは麦とほ場の状態を見て実施しましょう。「生育が遅れており3葉期未満」「生育不良」「ほ場が湿っている」際には、無理に麦踏みを実施すると逆効果になる場合があります。

○ 麦踏みの効果

【株の踏圧】→ 分げつ発生促進, 深根化・倒伏軽減, 生育の均一化

【土壌の踏圧】→ 凍上害(霜や凍結による麦の持ち上がり)や干害の防止

(3) 雑草対策 ～雑草は追肥の効果を小さくし、また病害虫の発生を助長します～

多発ほ場では除草剤散布を検討しましょう。



麦踏みは ほ場が乾いているときに実施しましょう!

麦踏みを土壌が湿っているときに行うと、土壌が固く締まった状態となり、根の伸長阻害や排水性の悪化による生育不良の原因となります。

ほ場が乾かない場合は、無理に麦踏みを実施する必要はありません。

1か月予報 (12/26～1/25) 仙台管区気象台 12月24日発表

期間の前半は気温がかなり低くなるでしょう。

<向こう1か月の気温, 降水量, 日照時間の各階級の確率(%)>

【気温】 70 20 10

【降水量】 40 30 30

【日照時間】 30 30 40

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>

【1週目】 70 20 10

【2週目】 80 10 10

【3～4週目】 50 30 20

■ 低い ■ 平年並 ■ 高い